

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号486

|           |                   |                  |   |
|-----------|-------------------|------------------|---|
| 発生場所      | 洗面所・浴室            | 精神・意識障害の有無<br>なし | リスク<br>C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク<br>E. スタッフが作業する上での環境上のリスク |
| 発生場所（その他） |                   |                  |   |
| 関連したもの    | 車椅子<br>手すり<br>その他 | 発生内容の分類<br>転倒    |   |

発生内容

脱衣所での患者転倒事例。

概要

入浴のため看護師が付き添い、風呂場へ向かう。車椅子の前に高さ約5cmのすのこを敷き、患者がすのこの上に立って服を脱ぎ始めた。看護師は、他の患者の介助を行ないながら、当該患者の見守りを行っていた。その際、当該患者がふらつき後ろの車椅子に座るように倒れこむが、反動で右側の床へ倒れた。患者は、頭部打撲、顔面に擦過傷、鼻出血等の負傷をした。

要因

床に敷いたすのこが大きく、前にある手すりが遠くなってしまった。

対策

すのこの大きさを小さくした。

参照